

7月26日（水）に開催された実践研究部会での活動を紹介します。

今回の参加者のみなさん

【今年度初参加の先生方】

瀧田健司先生（神沢中）、阿比留慶治先生（山王中）
濱地光大先生（富士中）、丹羽良平先生（有松中）
井上将孝先生（笹島中）、小比賀正規先生（扇台中）
増田旬一郎先生（天神山中）、旦野智啓先生（北中）
高羽 幸さん（名古屋市科学館）

今年度初参加の先生が3名いらっしゃいました。



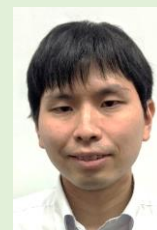
城山中

小林正嵩先生



桜田中

宇佐美偉之先生



白山中

佐藤行裕先生

授業作りアイデア

「『秋の授業公開』について、もし自分が授業者なら
どのような工夫をするか。」という前回からの課題につ
いて、それぞれ持ち寄ったアイデアを発表しました。

有松中学校の丹羽良平先生から、「カリンバ」という
オルゴールのルーツとされているアフリカの楽器の紹介
がありました。金属のバーの長さによってのみ音の高さ
が変わるため、ブリッジを使って弦の長さを変えたり、
弦の張りを変えたりして音を変えるモノコードよりも直
感的に分かりやすい教材でした。



【カリンバを操作する様子】

全中理発表について

第70回全国中学校理科教育研究会（8月6日～ 東京）の発表者である小林正嵩先生
（城山中学校）から、当日の発表「生徒自ら仮説を設定する授業の構築」について、紹介
していただきました。

秋の授業公開について

秋の授業公開の授業者である扇台中学校の小比賀正規先生より、メスシリンダーを利用
した音の高さの授業の提案がありました。メスシリンダーを使うことで気柱の長さに注目
しやすいという利点があることが分かりました。

また、水の代わりに砂を入れてみたらどうなるかを試してみたところ、きれいな音では
鳴りませんでした。ところが、メスシリンダーの内径と同じ円形の落とし蓋を紙で作
り、砂の上にかぶせたところ、きれいに音が鳴ることが分かりました。様々な形の瓶で音
を鳴らす実験も行いましたが、瓶の形が音に大きな影響を与えることも分かりました。

名理会 秋の授業公開

令和5年10月25日（水）午後 場所：扇台中学校 授業者：小比賀正規先生
実践単元：中1「単元3 身近な物理現象 2章 音の性質」